

会 議 録

1 会議名

令和8年度 第1回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について

・協議事項（公開）

（1）大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について

・その他（公開）

3 開催日時

令和8年4月16日（木）午後7時00分から午後8時10分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：天野委員、押見委員、金澤委員、小山委員、佐藤委員、佐野会長、
新保委員、俵木副会長、柳澤委員、横田委員

（13名中10名出席）

・資産活用課：丸山係長、長ヶ部主事

・事務局：大潟区総合事務所 小池所長、塚田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、
横田市民生活・福祉グループ長、丸山教育・文化グループ長、風間班長、
重原主事

8 発言の内容（要旨）

【塚田次長】

・会議の開会を宣言

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【佐野会長】

- ・挨拶

【小池所長】

- ・総合事務所内の人事異動についての説明

【佐野会長】

- ・会議録の確認：天野委員に依頼

【佐野会長】

報告事項（1）上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）についての報告を行う。資産活用課から説明を願う。

【丸山係長】

資料No.1等により説明

【佐野会長】

意見、要望、質問等はあるか。

【佐藤委員】

公の施設白書の大潟区抜粋版3ページに書いてある公の施設の現状については今回初めて知った。大潟児童館が休止中と書いてあるが、いつ頃からか。

【丸山係長】

令和3年4月からと聞いている。

【佐藤委員】

令和3年4月からというのは全く知らなかった。

【丸山係長】

詳細については現時点で把握していない。放課後児童クラブの利用場所でも活用されていることから、利用者数の推移を踏まえた対応であると思われる。

【小池所長】

今の説明のとおり、利用者数の減少が主な要因であると考えられる。一方で、当該施設は現在、放課後児童クラブとして有効活用されており、多くの児童が利用している。場所ははまっこ保育園の2階である。

【佐藤委員】

地域協議会で以前に視察に行ったことがある。緊急時には保育園の児童たちも利用できるよう、施設がつながっていた。

【小池所長】

少し補足するが、昨年、下階の保育園のエアコンが壊れた時に、上階の涼しい部屋を利用して児童が避難し、昼寝に活用したこともあり、利便性は高い。現在は放課後児童クラブの部屋として活用されている。

【佐藤委員】

それでは、放課後児童クラブとして利用されている旨の記載がないのはなぜか。

【丸山係長】

本計画は令和3年度から12年度までの計画であり、令和2年度に策定されたものである。当時の状況に基づき施設を掲載しており、その後、休止となり、現在のような利用状況になっている。

【佐野会長】

それでは、報告事項（1）上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）についてを終了する。

～資産活用課退席～

【佐野会長】

協議事項（1）大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について、前回に引き続きグループ協議を行っていただきたい。

～グループ協議～

【佐野会長】

まとめに入る。

【押見委員】

まちづくり班では、本日は全員が揃っていないこともあり、今後の進め方の方向性を確認するにとどまった。交通政策課からいただいた資料を確認したが、内容は難易度が高く、不明点も多いというのが全体としての所感である。これを踏まえ、今後どのように取組を進めるか検討したが、地域協議会のみでの対応には限界があるという点が課題として挙げられた。昨年度実施したかっぱ祭りのあり方検討会のように、関係団体の参加を得ながら、現在の大潟区における交通のあり方や将来需要の見通し、アンケート結果等を共有し、認識の共有を図る必要があるとの意見で一致した。その上で、3年後、5年後を見据えた準備について計画を立て、関係団体の理解を得ながら進めていくことが望ましいとの方向で話を終えた。次回は全員で再度検討し、妥当性を確認した上で進めていく予定である。

【柳澤委員】

地域の魅力の向上班では、多くの意見が出されたが、結論には至らなかった。前回、アンケート結果をA Iを用いて整理したデータの活用方法について意見交換を行った。地域の魅力の発信方法として、紙媒体やSNSの活用が挙げられたが、その担い手のあり方などについて課題が出され、現時点では整理途中の状況である。また、「魅力の発信は、まず地域住民自身がその価値を認識することが前提である」との意見もあり、住民との意見交換の必要性が指摘された。最終的な結論には至っていないが、今後は発信対象や発信方法について引き続き検討し、次回その方向性を見出していきたい。

【佐野会長】

両グループとも課題はあるが、内容としては有意義な取組である。引き続き検討を深めていただきたい。それでは、その他に移る。令和8年度大潟区に係る主要事業について事務局から説明を願う。

【塚田次長】

別紙資料No.3により説明

【風間班長】

3点説明する。1点目は、地域自治推進の取組についてである。現在、地域政策課が中心となり整理を進めているところであり、地域協議会との意見交換会を予定している。ブロック単位での実施を想定しており、現時点では日程は未定であるが、5月の下旬か

ら6月の月上旬までに開催できるよう調整中である。2点目は、頸北地区合同研修会についてである。昨年度は柿崎区で地域自治推進プロジェクトをテーマに実施したが、前回の会議の中でも当該テーマとは切り離して実施すべきとの意見があった。今年度は大潟区が当番であり、例年どおり10月から11月頃の開催を予定している。内容について意見等があれば事務局まで連絡願いたい。3点目は、令和8年度市民と市長との対話集会「スマイルミーティング」についてである。チラシは全戸配布予定であり、5月18日に大潟コミュニティプラザ2階多目的ホールで開催する。市長と直接対話できる貴重な機会であるため、多くの参加をお願いしたい。なお、本会は4月20日の大島区を皮切りに各区で実施しており、大潟区は4番目となる。

【佐野会長】

ほかに連絡事項はあるか。

【俵木副会長】

大潟区地域協議会懇親会の案内

【佐野会長】

キックオフイベントの案内

【佐野会長】

次回の日程案について説明を願う。

【塚田次長】

次回協議会は、5月21日（木）午後7時から大潟コミュニティプラザ2階の大会議室で開催する。

【佐野会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線201、214）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。